

令和7年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平恵理書

小三	氏名				せみの声	岩にしみ入る	しずかさや

課題解説

俳句

俳聖と呼ばれる松尾芭蕉の代表作の一つ。山形市の立石寺で詠まれたもので奥の細道に収録されています。岩に染みとおっていくような、静けさを一層際立たせる強い蝉の音が聞こえてくるような一句。

（課題文は「書文協ことば会議」選定・創作）